

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	加古川駅北自動車整理場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成24年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	徐々にではあるが整理場の利用者は増加しており、駅北ロータリーの混雑緩和を図ることができている。路側帯に停車し乗客を乗降させていたツアーバスなどは、加古川B.Pへのアクセスに便利な本施設を利用する車両が増え、安全性の向上が図られている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川駅北ロータリーの混雑解消を図るため。
対象 ※誰、何に対して	加古川駅北ロータリーの利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川駅北ロータリーに隣接する31街区に自動車整理場を設置し、管理している。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	5,868 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,152 千円
	一般財源	3,716 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	043 加古川駅北自動車整理場管理事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	6,324 千円	5,502 千円	5,868 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	整理場の適切な維持管理が行われている。また、平成29年度より利用料金の上限設定を行い、利便性の向上を図っている。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北自動車整理場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用数	台	193,438	206,227	224,695

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開場日数	日	365	365	365
活動指標分析結果	平成24年5月14日より供用を開始し、終日開業している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
1日当たりの整理場利用台数	台	530	565	615	令和2年度	450
成果指標分析結果	1日当たり約615台の利用があり、徐々に利用者が増加しており、駅北ロータリーの混雑緩和を図ることができている。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成5年度 ～ 令和5年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	土地区画整理法、東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行に関する条例

【事業概要】

現状と課題	都市計画道路・駅北広場が整備され通行車両及び駅利用者の利便性が向上した。仮換地の整備が済み、都市計画道路・区画道路に接した家屋の新築が進んでいる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	都市機能(生活環境・利便性・防災性)の充実を図ることにより、健全な市街地を形成する。都市計画道路・駅北広場・区画道路が整備されることにより、交通の利便性及び安全性の向上に繋がる。また、道路・公園が整備されることにより、居住環境及び防災性の向上が見込まれる。
対象 ※誰、何に対して	東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行区域内の関係権利者。加古川駅利用者、南北東西交通幹線道路の利用者など都心へのアクセスを目的とする車両等。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	土地区画整理事業計画に基づき、整備計画を立て進捗を図る。

【コスト】

		令和元年度(決算見込)
事業費合計		45,939 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	45,939 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	010 加古川駅等周辺整備事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	91,296 千円	126,254 千円	45,939 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	長年膠着状態であった物件移転補償交渉が進み、道路整備延長とともに目標値に着実に近づいている。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
都市計画道路整備延長	m	3,191	3,191	3,191
区画道路整備延長	m	3,441	3,486	3,591

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
物件移転補償件数	件	413	415	416
道路築造工事延長	m	6,632	6,677	6,782
活動指標分析結果	平成31年度は、物件移転補償を1件実施し計416件となった。道路築造工事は、区画道路をL=105m実施し計L=6,782mとなった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
物件移転率	%	99	99	99	令和5年度	100
道路整備率	%	94	95	97	令和5年度	100
成果指標分析結果	物件移転補償率は99% (416 / 420件、残り4件)。道路整備率は97% (6,782 / 6,987m、残りL=205m) となった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	宝殿駅南駐車場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成14年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	加古川西地区
関連根拠法令等	宝殿駅南駐車場の設置及び管理に関する要綱

【事業概要】

現状と課題	宝殿駅南再開発事業を実施するまでの暫定的な措置として、平成14年度に駅南広場へ駐車場を整備し、管理運営を継続している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	宝殿駅の利便性を向上させるとともに、駅前広場内の渋滞緩和を図る。
対象 ※誰、何に対して	車で移動をしている宝殿駅及び駅周辺施設等利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	宝殿駅南に駐車場を設置、運営するとともに、維持管理を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	3,889 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	3,889 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	040 宝殿駅南駐車場管理事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	3,466 千円	3,800 千円	3,889 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駐車場の適切な維持管理が行われている。本駐車場は、月平均1,000台以上の利用があり、駅及び周辺施設利用者が気軽に利用できる駐車場として定着しており、再開発事業が実施されるまでは継続していきたい。

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	宝殿駅南駐車場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
宝殿駅の利用者数	千人	7,215	7,142	7,097

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
駐車場収容台数（時間）	台	20	20	20
活動指標分析結果	20台の駐車枠を確保している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
1日平均駐車台数（時間）	台	39	39	36.7	令和2年度	35
成果指標分析結果	1日当たり約37台の利用があり、宝殿駅の利便性向上に寄与している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅北駐車場等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成13年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	加古川市厄神自動車駐車場の設置及び管理に関する条例及び同施行規則

【事業概要】

現状と課題	平成17年頃に厄神駅西に民間駐車場が完成したことなどにより、厄神駅北駐車場の利用は平成21年度から減少に転じた。このため、パークアンドライド駐車場として利用しやすいよう、平成25年4月から時間貸し料金と駐車台数の内訳（定期80台+時間25台）の見直しを行った。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	パークアンドライド駐車場として、JR加古川線の利用促進、都心部への車流入の抑制、大気汚染の軽減を図る。
対象 ※誰、何に対して	厄神駅の利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	駐車場の設置、運営するとともに、維持管理を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	5,196 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	5,196 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	044 厄神駅北駐車場等管理事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	5,684 千円	5,362 千円	5,196 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駐車場の適切な維持管理が行われている。本駐車場は、JR加古川線の利用促進を図るためのパークアンドライド駐車場として整備しており、地域住民に対し利用啓発・周知を行い、さらなる利用促進に努めていきたい。

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	厄神駅北駐車場等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
厄神駅の利用者数	千人	653	623	609

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
駐車場収容台数（定期）	台	80	80	80
駐車場収容台数（時間）	台	25	25	25
活動指標分析結果	定期駐車と時間貸し駐車のを割合を適正に配分している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
月平均駐車台数（定期）	台	72.7	69	63.5	令和2年度	75
1日平均駐車台数（時間）	台	18.9	17.1	18	令和2年度	15
成果指標分析結果	定期駐車が月平均約64台、時間貸し駐車が1日平均約18台、月平均約550台の利用となっており、パークアンドライド駐車場として、JR加古川線の利用促進に寄与している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅周辺道路整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 令和2年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	道路法

【事業概要】

現状と課題	J R 厄神駅へのアクセスの改善のため、平成23年度から、道路拡幅整備事業に着手している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	J R 厄神駅へのアクセスの改善を行い、同駅の利便性の向上と J R 加古川線の利用促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	厄神駅周辺(八幡町・上荘町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	J R 厄神駅への主要アクセス道路の整備工事を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	17,200 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	15,400 千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,800 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	030 厄神駅周辺整備事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	20,151 千円	35,043 千円	17,200 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 道路拡幅用地の買収と整備工事を順次行っている。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅周辺道路整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
厄神駅周辺(八幡町・上荘町)の住民	人	9,022	9,328	9,532

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
今年度までに整備された道路の延長距離	m	325	460	665
活動指標分析結果	平成31年度は下村3号線の道路拡幅工事(L=205m)を実施し、道路整備延長の合計がL=665mとなった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	47	54	78	令和2年度	100
厄神駅の利用者数	千人・年	653	623	609	令和2年度	666
成果指標分析結果	事業進捗率は78%となった。厄神駅の利用者は、平成20年度の三木鉄道廃止後ほぼ横ばいで推移していたが、近年はやや減少傾向である。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	自転車対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成18年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	道路法、（通称）自転車法、加古川市自転車等の放置の防止に関する条例

【事業概要】

現状と課題	加古川市自転車等の放置の防止に関する条例の施行と併せて、自転車等放置禁止区域を指定し、原則として即日撤去を実施することで歩行者等の通行の安全の確保や防災活動の円滑化、まちの美観の確保が図られている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能の確保を図ることで、美しいまちなみの保全を図る。
対象 ※誰、何に対して	交通手段として自転車を使用する市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各鉄道駅周辺に有料及び無料駐輪場を整備し、自転車の放置に対する指導啓発及び条例に基づく放置自転車の撤去、移送等による駐輪マナーの向上を図るとともに、駐輪場の確保、維持管理を行う。

【コスト】

	令和元年度（決算見込）	
事業費合計	46,625 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,285 千円
	一般財源	44,340 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	02 道路橋梁費
目	01 道路橋梁総務費
細目	010 自転車対策事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	48,059 千円	48,045 千円	46,625 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業のPR等で自転車の放置禁止は、市民に浸透してきているが、さらなる放置の増加を防止する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	自転車対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市内の自転車防犯登録台数	台	18,018	17,747	17,705

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
放置自転車等撤去台数	台	1,773	1,543	1,636
有料駐輪場利用率	%	68.8	65.9	66
活動指標分析結果	鉄道駅における有料・無料駐輪場について、必要台数の確保は十分に図られている。平成27年度に放置自転車等の撤去台数が2000台を割り込んでいるが、令和元年度は好天が多く、増加したため、今後更なる減少を目指す必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
撤去自転車等減少率(対前年比)	%	90	89	106	令和2年度	95
成果指標分析結果	駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能確保を図るため放置自転車の撤去を実施することで、美しいまちなみの保全も図られている。					